

【復興支援道路 E13 (東北中央自動車道)】

相馬福島道路 そうまたまの 相馬玉野IC～りょうぜん 霊山IC間の供用前に
総合防災訓練(七ツ窪トンネル)を実施します

平成30年3月10日供用予定の、東北中央自動車道 相馬福島道路(相馬玉野IC～霊山IC)七ツ窪トンネル内で交通事故によるけが人と車両火災の発生を想定した「総合防災訓練」を実施いたします。

本訓練は、トンネル内で車両事故等が発生した場合の迅速な情報伝達や交通規制、救助、消火活動等を実施するものです。

記

1. 訓練日時：平成30年3月5日(月) 午前9時30分～午前11時30分(予定)
2. 訓練場所：相馬福島道路 七ツ窪トンネル 福島側坑口 (伊達市霊山町地内)
集合場所：霊山防災ステーション (別紙-1 案内図参照)
3. 主な訓練内容
 - 1) 情報伝達訓練
 - 2) 交通規制訓練
 - 3) 救助・救出訓練
 - 4) 車両の消火訓練
4. 実施機関：国土交通省 福島河川国道事務所
5. 訓練概要：別紙-1のとおり
6. 取材：事前申し込みは不要です。当日、集合場所の時間にお越し下さい。
発表記者会〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、いわき記者会、
いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、南相馬市役所記者クラブ〉

【問合せ先】

【防災訓練について】	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
副所長	<small>もと き</small> 本木 <small>まさのぶ</small> 雅信 TEL 024-546-4331 (代表) (内線206)
【事業全般】	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
副所長	<small>さ の</small> 佐野 <small>ともき</small> 智樹 TEL 024-546-4331 (代表) (内線205)

相馬福島道路 「相馬玉野 IC ～霊山 IC」 総合防災訓練概要

1. 訓練目的：相馬福島道路（相馬玉野 IC ～霊山 IC）供用に伴い、開通後に発生する交通事故等に対し、迅速で的確な対応が出来るよう関係機関による合同訓練を実施するものである。
2. 訓練日時：平成 30 年 3 月 5 日（月） 午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分（予定）
3. 訓練場所：相馬福島道路 29.68kp 付近：七ツ窪トンネル福島側坑口
4. 実施機関：国土交通省 福島河川国道事務所
5. 参加機関：福島県 保原土木事務所
福島県 相双建設事務所
伊達市
相馬市
福島県警察本部
伊達警察署
相馬警察署
伊達地方消防組合消防本部
相馬地方広域消防本部
福島市消防本部
安達地方広域行政組合消防本部
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院
6. 次第：（1）開会式：あいさつ（国交省）、訓練概要説明 （9:30～9:40）
（2）訓練 （10:00～11:25）
（3）閉会式：講評（警察、消防） （11:25～11:30）
7. 訓練想定：・七ツ窪トンネル内において乗用車同士の追突事故による本線の全面通行止め
・事故車両の運転手及び同乗者複数名が負傷し、車内に閉じ込められ重傷者もいる模様
・事故車両から火災発生の想定
8. 訓練項目：（1）通報情報伝達訓練：国交省、警察、消防、県、伊達市、相馬市
（2）交通規制訓練：警察、国交省
（3）救助・救出訓練：警察、消防
（4）消火訓練：消防

9. 参加人員：約50名

10. 取材：事前に申し込みは不要です。当日、下記集合場所の時間にお越し下さい。

11. 集合場所 相馬福島道路 霊山防災ステーション

受付時間 8時50分～（9時10分より報道機関向けに説明会を行います）
別添地図を参照願います。（誘導員の指示に従ってください）

12. 注意事項

- ・訓練会場への進入は別添案内図に従い、安全に注意し走行してください。誘導員の指示に従ってください。
- ・開会式（霊山防災ステーション）後、現地訓練箇所（七ツ窪トンネル内）までは、準備したバスにて案内、移動いたしますのでご乗車願います。
- ・訓練箇所がトンネル内という限られたスペースであること、訓練車両が往来することから、取材は最小限の人数になりますようご理解とご協力をお願いいたします。
- ・取材時は必ずヘルメットを着用していただくようお願いします。なお、ヘルメットは各自準備願います。
- ・訓練箇所のトンネル内では、緊急車両の参集、各種機材の使用が行われます。また、消火訓練では、放水により水が飛び散りますので、撮影機器等の取り扱いにご注意ください。
- ・取材中の事故防止のため、決められたエリアで担当者の指示に従ってくださるようお願いします。
- ・訓練中のトイレはありません。霊山防災ステーションのトイレ（簡易トイレになります）は利用可能です。
- ・飲料水はありませんので各自準備をお願いします。

相馬福島道路 総合防災訓練 案内図



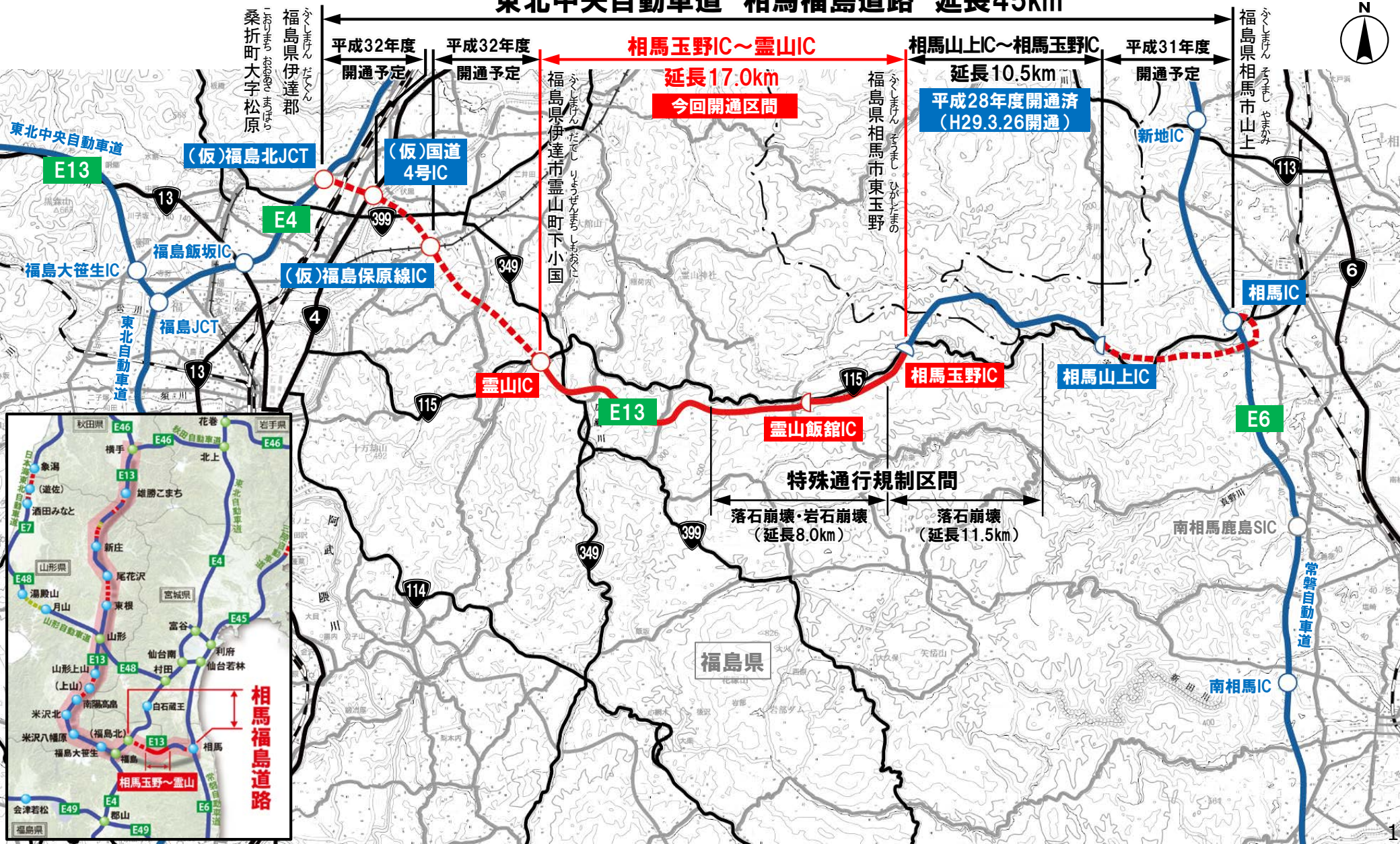
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。
【承認番号 平29東複、第33号】

位置図

凡例

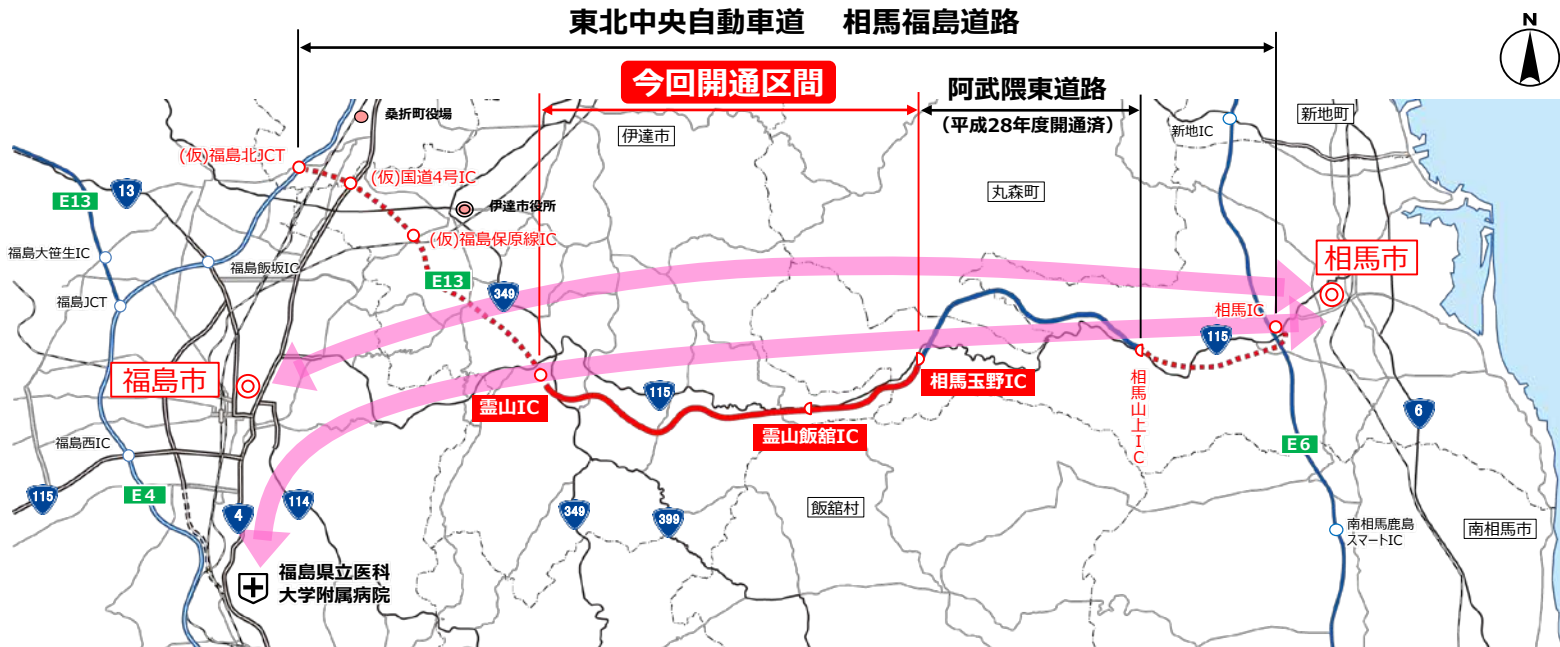
- : 今回開通区間
- - - : 事業中区間
- : 開通済区間

東北中央自動車道 相馬福島道路 延長45km

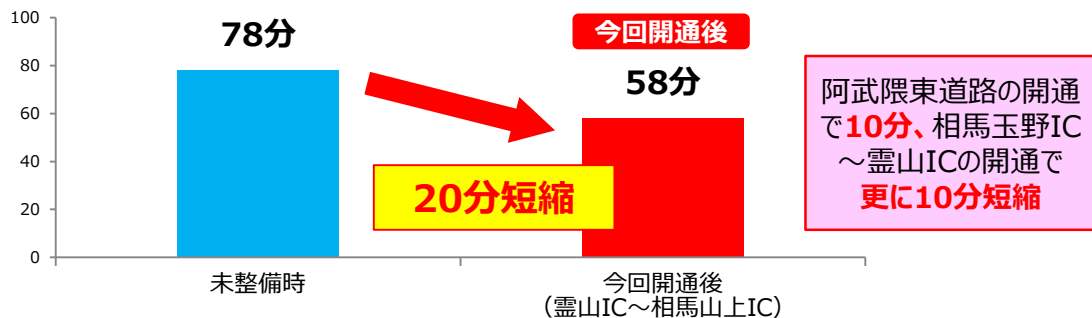


－相馬～福島間の所要時間が短縮－

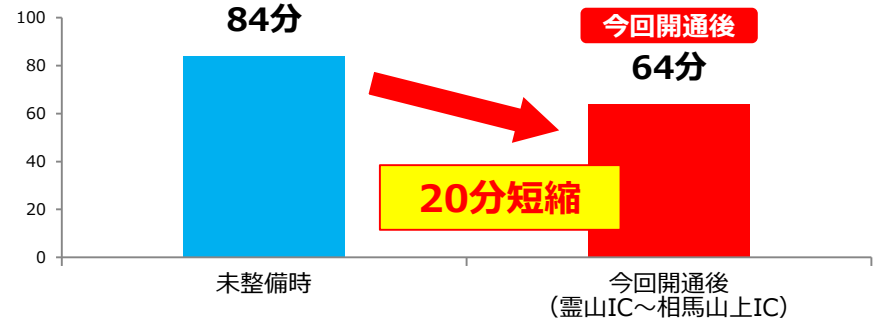
- ◆相馬福島道路（相馬玉野IC～霊山IC）の開通により、相馬市～福島市間の所要時間は未整備時より20分短縮
- ◆救急搬送の速達性確保のほか、観光交流・企業活動の活性化を支援



▼相馬市役所⇄福島市役所の所要時間の変化



▼相馬市役所⇄福島県立医大病院の所要時間の変化



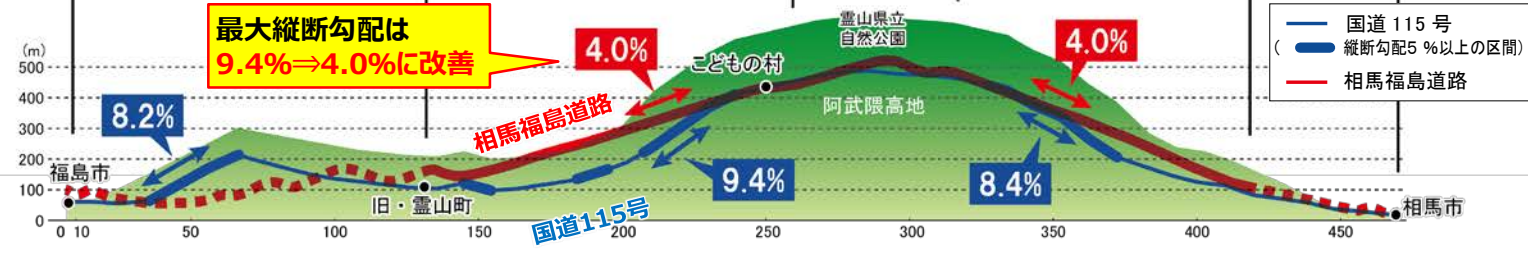
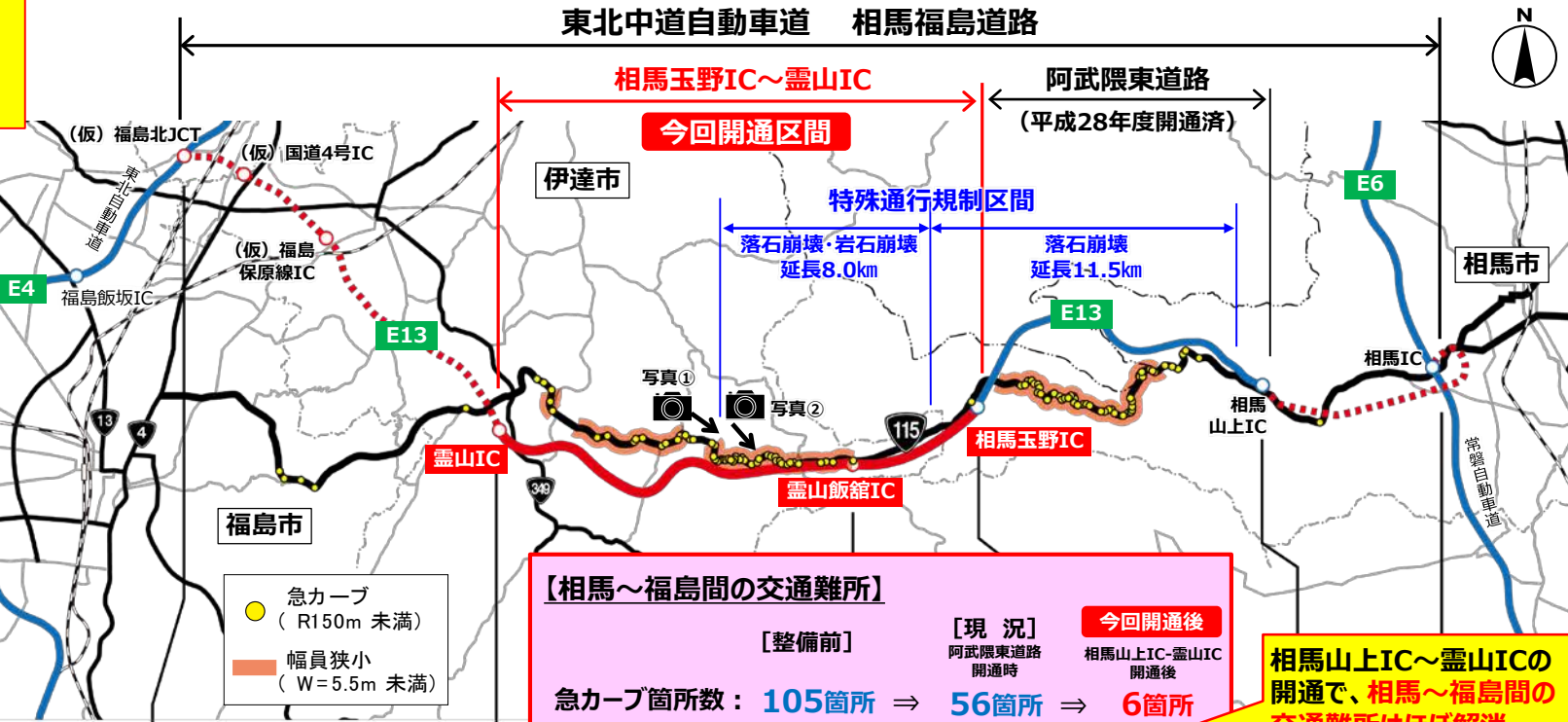
※国道115号・相馬福島道路経由 ※相馬福島道路の区間は70km/hで算出

出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査

効果 1 : 相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

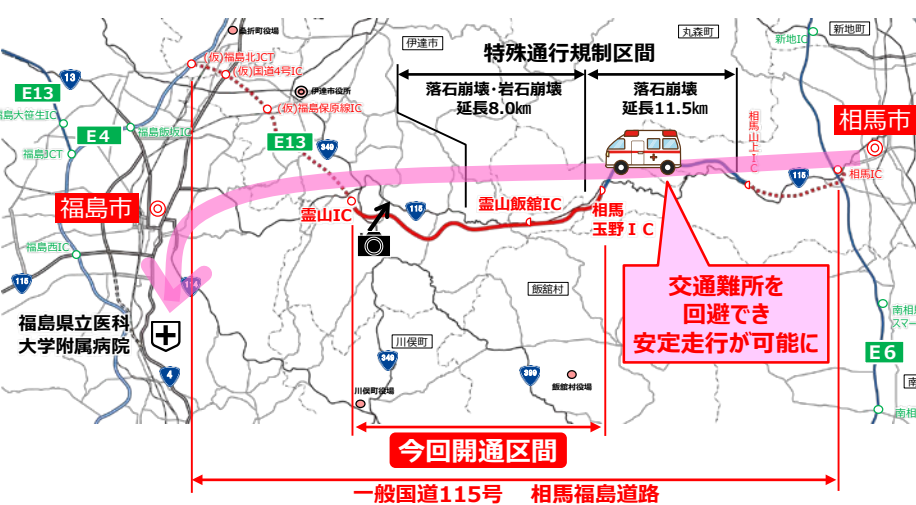
- ◆相馬～福島間を結ぶ国道115号は、急カーブや急勾配区間が連続し、災害等で通行止めが頻発
- ◆相馬玉野IC～霊山ICの開通により、急カーブや急勾配、事前通行規制区間等の交通難所はほぼ回避できるようになり、相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

国道115号では災害による通行止めが頻発
(過去10年で14回の全面通行止めが発生)



効果2：救急搬送の速達性・安定性を確保

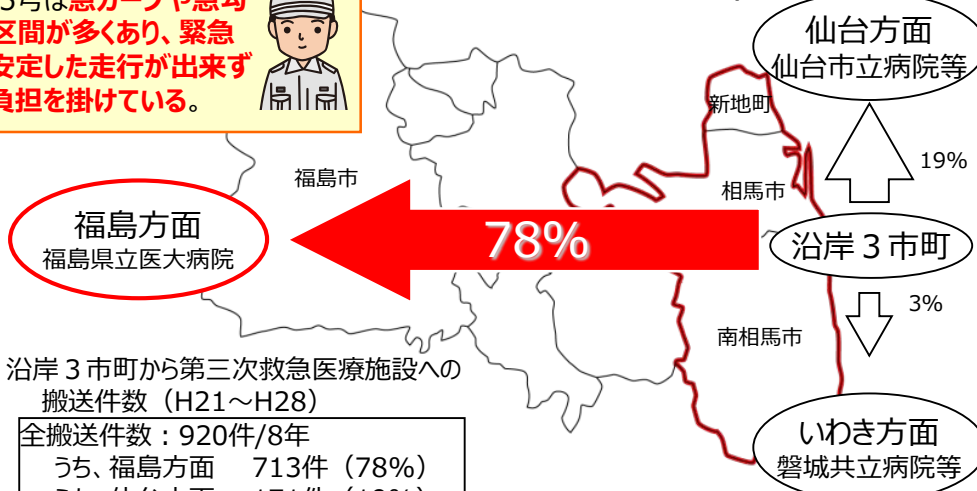
- ◆相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約8割が搬送
- ◆国道115号は線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の患者への負担が大きい等の課題を指摘
- ◆相馬玉野IC～霊山ICの開通により、相馬市役所～福島県立医大病院間の所要時間は未整備時より20分短縮されるとともに、安定走行が可能となり、搬送時の患者への負担が軽減



【相馬消防署の声】
 国道115号は急カーブや急勾配等の区間が多くあり、緊急車両も安定した走行が出来ず患者に負担を掛けている。

交通難所を回避でき安定走行が可能に

▼第三次救急医療施設への搬送割合 (H21～H28)

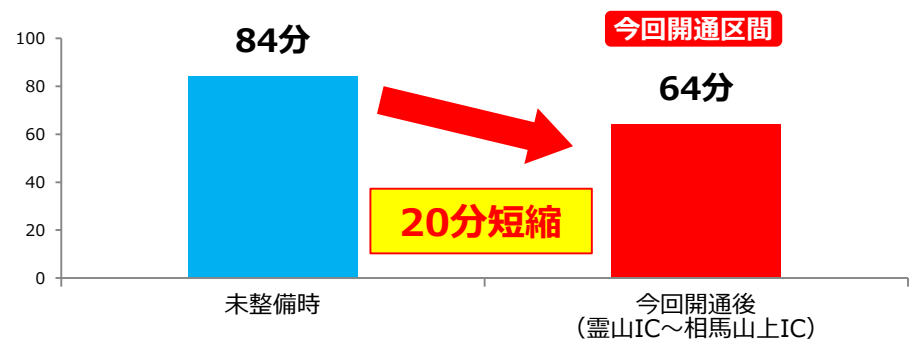


沿岸3市町から第三次救急医療施設への搬送件数 (H21～H28)

全搬送件数	920件/8年
うち、福島方面	713件 (78%)
うち、仙台方面	171件 (19%)
うち、いわき方面	30件 (3%)

出典：相馬地方広域消防本部ヒアリング

▼相馬市⇄福島県立医大病院間 (国道115号・相馬福島道路経由) の所要時間



※所要時間は相馬市役所～福島県立医大病院間で算出
 相馬福島道路の区間は70km/hで算出

出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査



【霊山IC～霊山飯館IC並行区間】

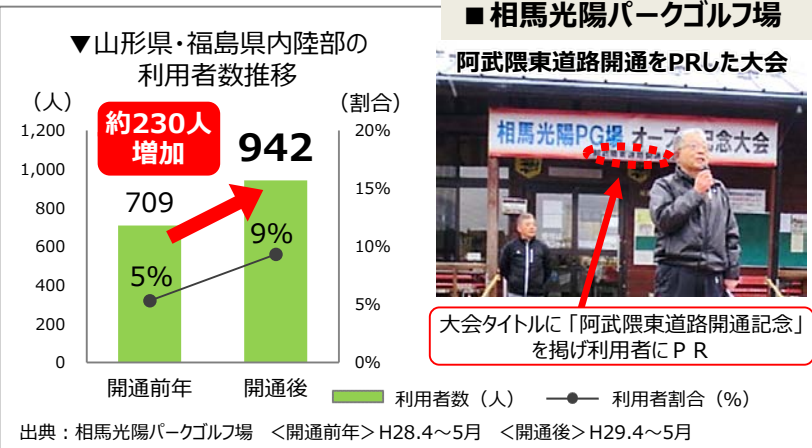


【相馬玉野IC～相馬山上IC間】

効果3：広域的な観光周遊を支援

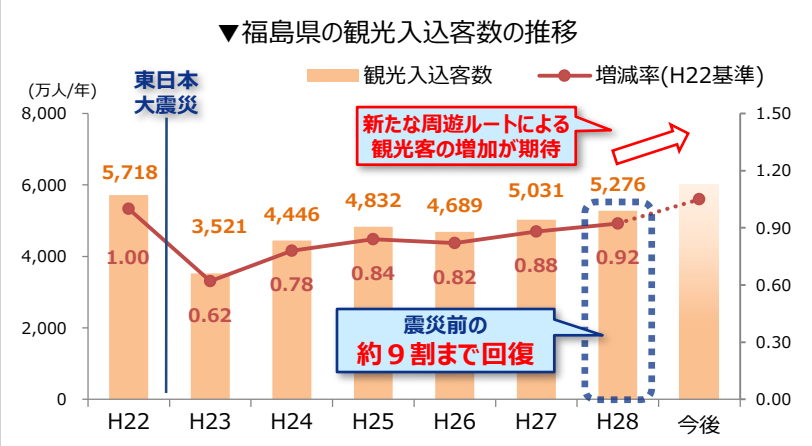
- ◆阿武隈東道路開通後、相馬市内の観光施設では山形県・福島県内陸部からの来訪者が増加
- ◆相馬福島道路が全線開通すれば、相馬～福島間の所要時間は約40分短縮されるとともに、相馬市を經由する広域的な観光周遊が可能となり、震災で落ち込んだ福島県の観光入込客の回復に期待

▼相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルートの形成イメージ



【相馬光陽パークゴルフ場管理・運営者の声】

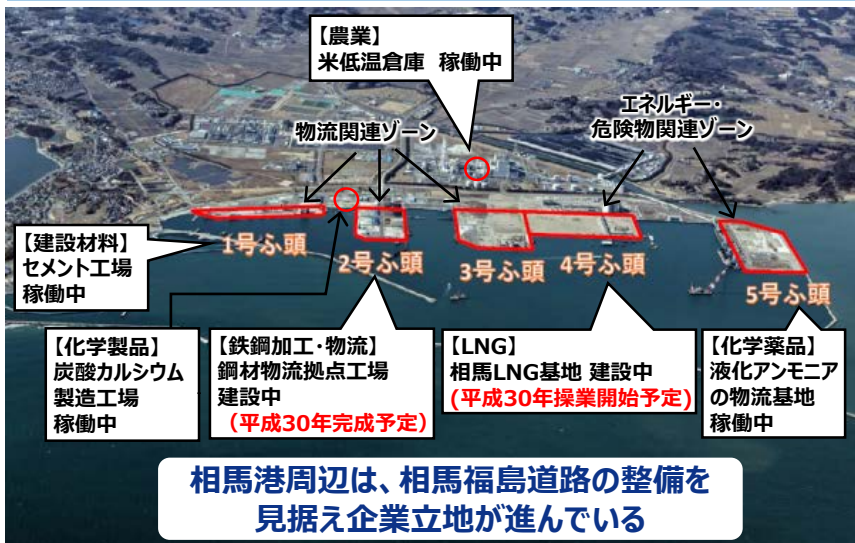
- 山形県や中通り・会津方面の参加者から「到着時間が早まった」「走行性が良くなった」との声があがっています。
- 相馬福島道路の更なる延伸により、内陸方面からのお客様が施設を利用しやすくなることを期待しています。



出典 (観光入込客数) 福島県観光客入込状況調査(H28)、宮城県観光統計概要(H28)
 (所要時間) H27年全国道路・街路交通情勢調査、相馬福島道路の区間は80km/hで算出

効果4：物流効率化で企業活動を支援

- ◆相馬港周辺は、相馬福島道路の整備を見据え企業立地が促進
- ◆国道115号の連続した線形不良区間を走行する際は、常に荷崩れや横転等の危険性が高く、ドライバーの精神的な負担が増大
- ◆相馬福島道路は、中通り地方と浜通り地方との物流を支える大動脈として機能し、走行性の向上や時間短縮による物流効率化により企業活動を支援



相馬港周辺は、相馬福島道路の整備を見据え企業立地が進んでいる

出典：福島県相馬港湾建設事務所



出典：加速度調査結果（H28.9.22）より
 ※単位(G)とは、加速度の単位で、重力加速度を1.0Gと表した単位である。すなわち、1.0G=9.80665m/s²である。
 ※0.2G以上の揺れ：体が横滑りする感覚を受け、長く続くと不快感を受ける加速度

【化学薬品製造会社の声】



- 炭酸カルシウムは急カーブ・急勾配が続くと重さが偏り横転する危険性があります。
- 現在、輸送ルートは主に国道115号を利用しており、急カーブ箇所も多いため常に細心の注意を払って輸送しております。
- 相馬福島道路が開通すれば、輸送時に横転する危険がなくなる他、輸送頻度・出荷量の増加に繋がることも期待できます。

【農産物取扱流通会社の声】



- 沖縄県への米の出荷量は、年間約4,000tあり、沖縄県向けの米の約8割は会津・中通り地方から国道115号や相馬福島道路を通過して、相馬港まで輸送されます。
- 相馬福島道路が全線開通すると、会津地方、中通り地方から相馬港への輸送負担が軽減されます。
- 道路整備による時間短縮、走行経費削減にも大いに期待しています。

【相馬港進出の鋼材販売会社の声】



- 山形や秋田の日本海側への需要拡大が見込まれ、東北各地へ高速道路を利用したアクセスが優れることから相馬港に進出しました。
- 相馬福島道路が全線開通すれば、物流面での効率化が格段に向上します。

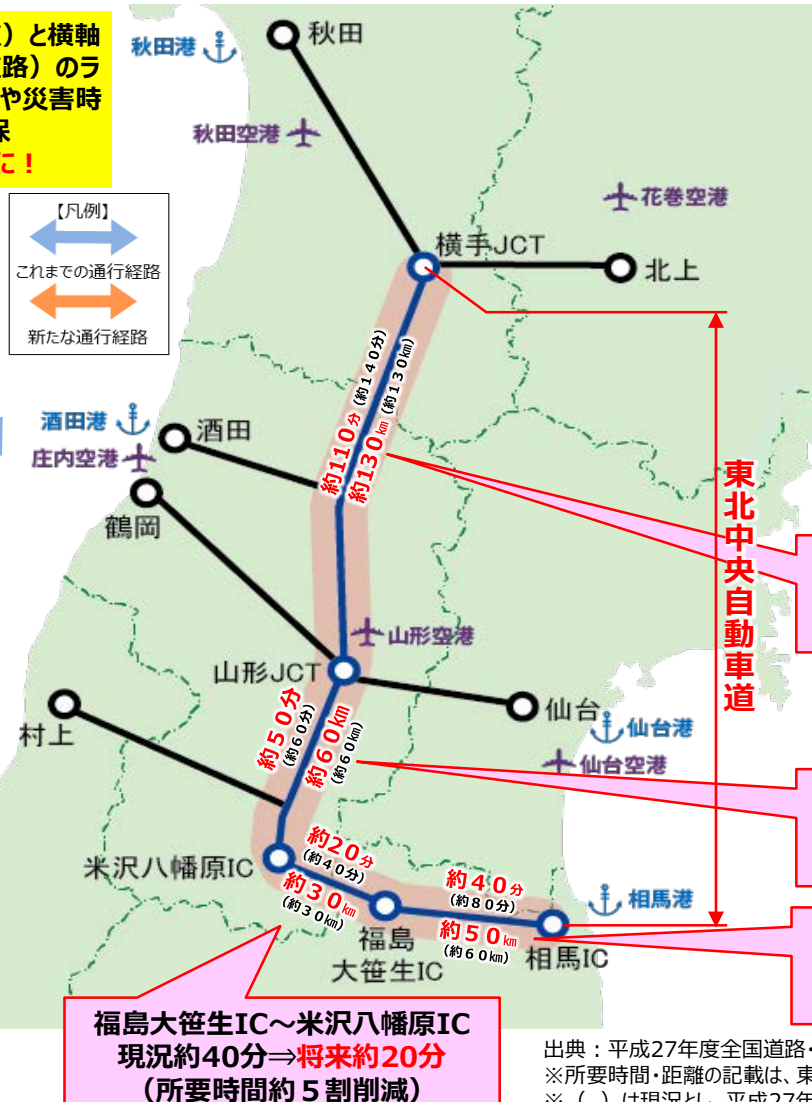
－東北地方の広域的な道路ネットワークが形成－

- 東北中央道の開通により、**広域的な通行経路の選択が可能**となり、悪天候や災害時においても**寸断されない信頼性を確保**
- 相馬IC～横手JCT間における**所要時間は約100分（約3割）短縮**

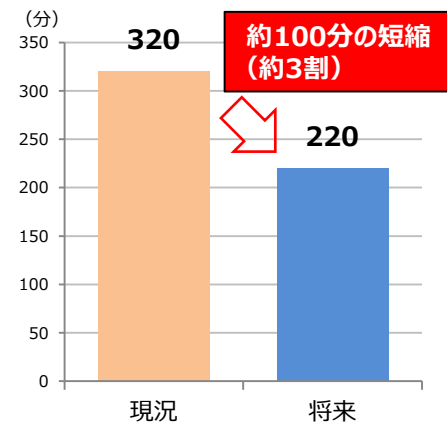
▼高規格ネットワーク図



▼東北中央道（相馬IC～横手JCT間）の所要時間変化（将来）



▼東北中央自動車道における起終点間の所要時間【相馬IC～横手JCT間】



出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 昼間非混雑時旅行速度
 ※所要時間・距離の記載は、東北中央自動車道開通後の所要時間にて算出
 ※（ ）は現況とし、平成27年度時点の並行路線等の所要時間・距離を記載